

Cx実施事例紹介シンポジウム in 関西



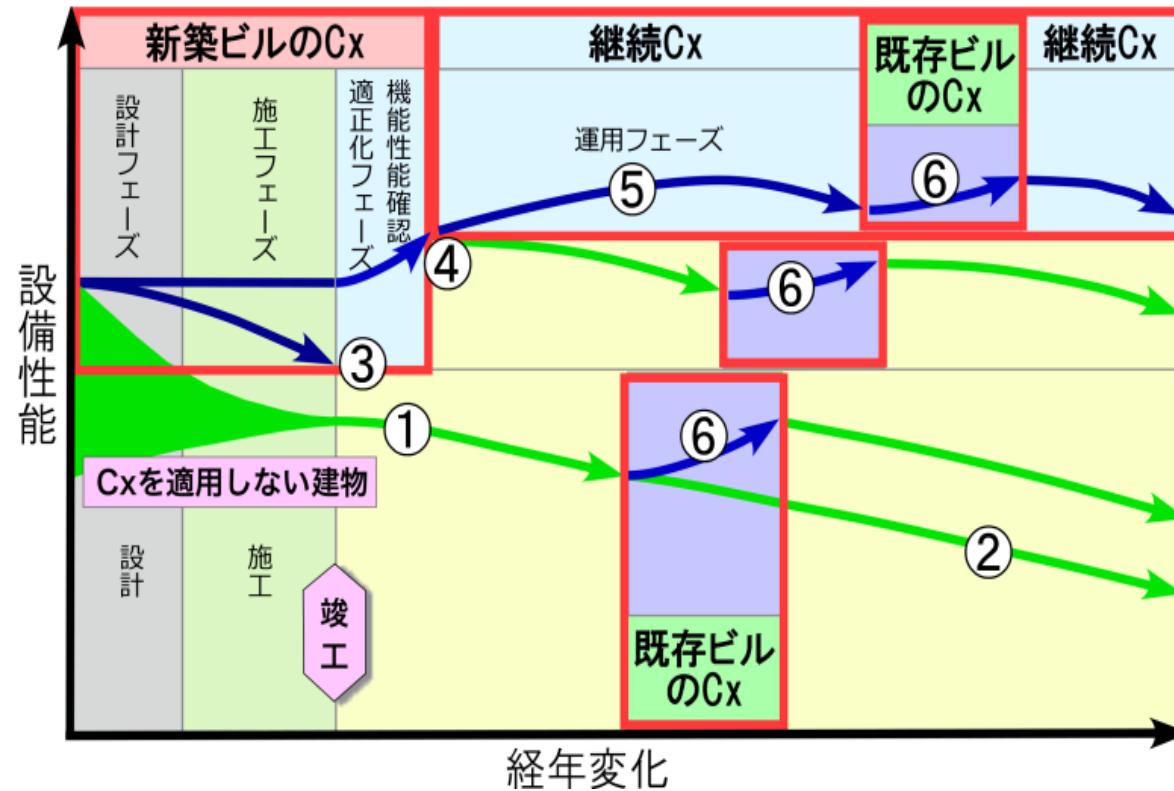
平成28年2月19日(金) 13:30~18:00 エル・おおさか 本館5F 視聴覚室

本日の講演

1. シンポジウム趣旨説明
2. 京都駅ビル熱源・空調設備改修工事のコミッショニング（施工フェーズ）（新築Cx）
3. ヨンデビル新館における継続的なコミッショニングの取り組みと成果（継続Cx）
4. 大阪中央病院のコミッショニングの取り組みと
運転管理者の役割（既存・継続Cx）
5. 真庭市庁舎におけるオールバイオマス熱源の検証
（新築Cx）
6. ディスカッション

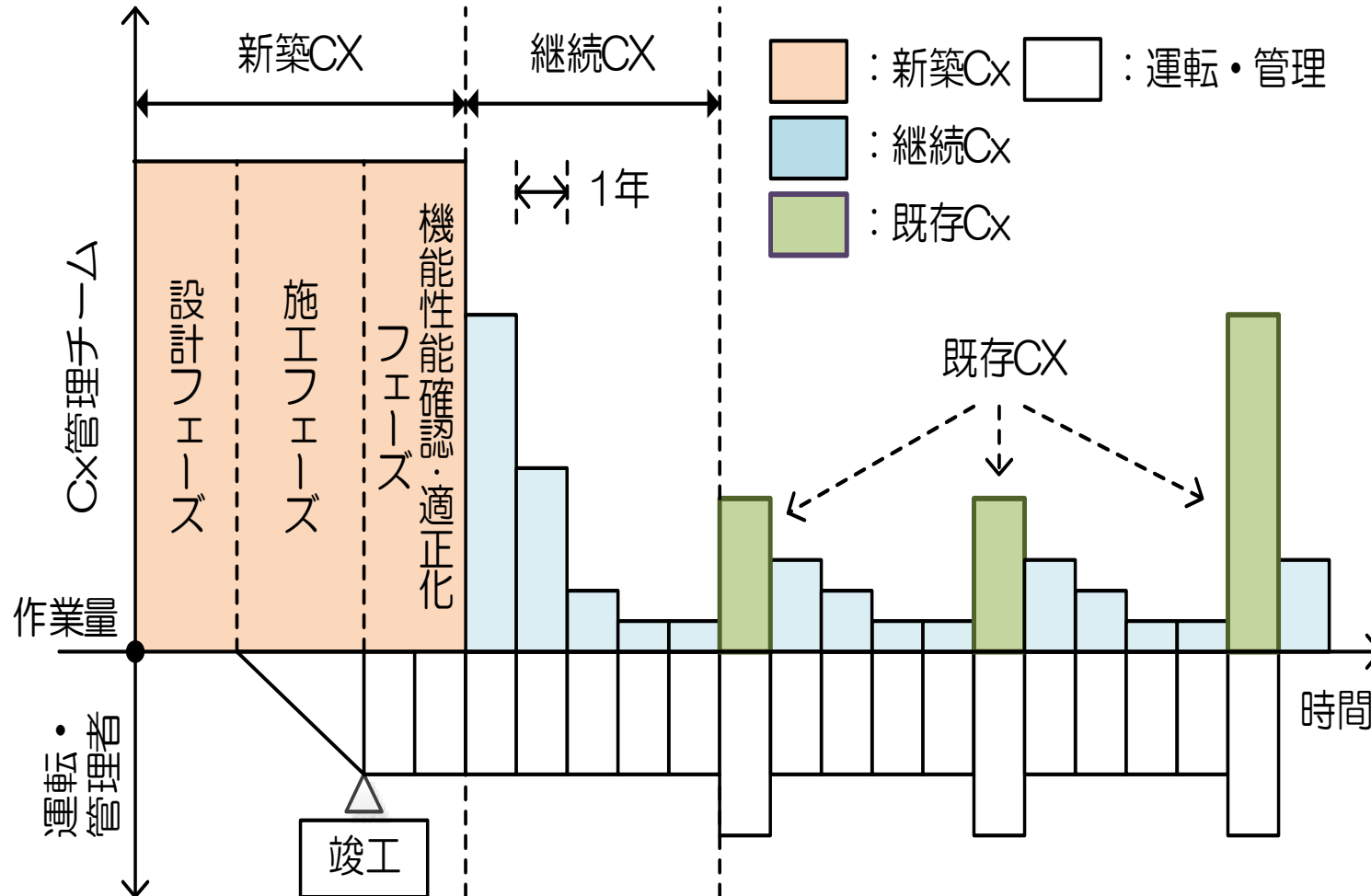
コミッショニングの種類

- 新築ビルのCx (大改修は新築Cx)
- 既存ビルのCx
- 継続Cx



- ①→② Cxのない既往の建物
- ③ 竣工時だけの性能検証
- ④ 新築ビルのCxを設計時から導入
- ⑤ 継続Cx 継続的な運転適正化
- ⑥ 既存ビルのCx

コミッショニングの種類とタイムフレーム



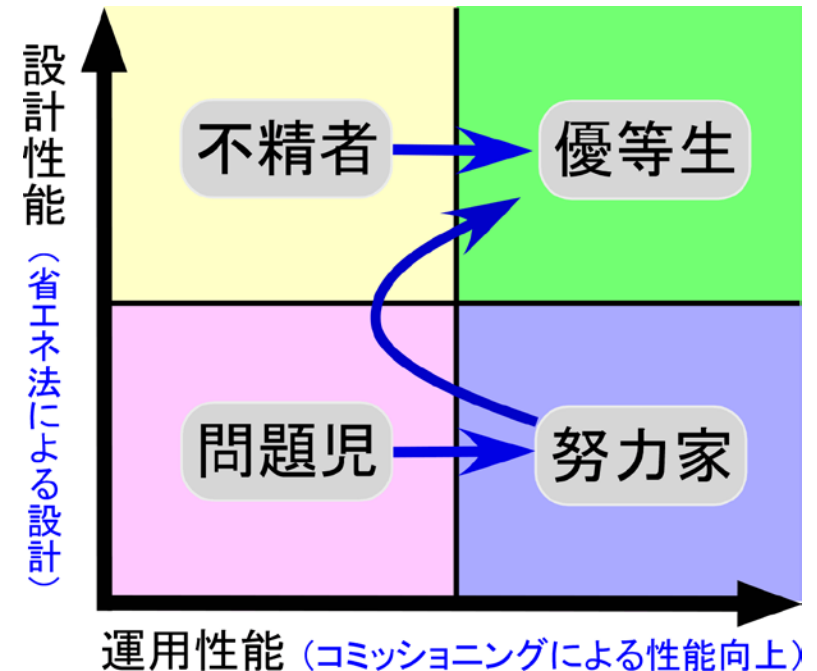
コミッショニングの効用

- 新築ビルのCx
 - 常に運用を考慮した性能向上と検証
 - 既存ビルのCx・継続Cx
 - 運用性能の向上と検証
- ・Cxは手順を踏んだ技術プロセスである
- ・例えば、ESCOにも省エネチューニングにもCxを適用することが適切である

Q1: Cxは屋上屋を重ねることにならないか？

Q2: Cxは第三者でないと実施できないか？

Q3: etc.



CxはWinWinになる？

設計者 発注者の要求事項が整理されるので

- ◆ 設計作業が合理化される（作業を全て設計者に押しつけることがなくなる）
- ◆ 設計提案が専門的に議論できる
- ◆ 設計責任が明確になる（いわれのない設計ミスなど、理不尽な追求が減る）

施工者

- ◆ 施工後の手戻り仕事が少なくなる
- ◆ 技術力が評価され施工会社としての名声が高まる（差別化される）
- ◆ 正当なVEが技術論で議論できる

建物管理（オーナー・運転者）

- ◆ 性能確保の安心感（セカンドオピニオン）
- ◆ 性能が保証される（明確な性能設計）
- ◆ 建物の社会的・財産的価値が高まる（CSR:地球環境への配慮）
- ◆ 機器の劣化が少ない（メンテナンス費用の削減）
- ◆ 運転者・管理者が合理的に施設管理ができる（運転・管理作業の合理化）
- ◆ 建物の性能情報が文書で蓄積される（財産価値の管理）
- ◆ 改修・改造工事が省力化され適確に実施できる（長寿命化に不可欠）